

[成果情報名]東北地方の春播き栽培に適するソバ品種候補「東北3号」

[要約]ソバ品種候補「東北3号」は春播き栽培において早生で多収であり、そばの官能評価が高いことから、東北地方におけるそばのブランド確立に貢献できる。

[キーワード]春播き、東北地方、早生、ソバ、官能評価

[担当]農研機構東北農業研究センター・畑作園芸研究領域

[代表連絡先]電話 019-643-3433

[区分]東北農業・畑作物（畑作物育種）

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

ソバ (*Fagopyrum esculentum* Moench) は機械栽培に適するため、東北地方では転換畑にソバを導入する地域が増加している。一方で、播種期の拡大や二毛作等による生産性の向上が求められている。そこで安定的に春播き栽培ができる早生、多収で良食味のソバ新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. ソバ「東北3号」は子実品質に優れる「奈川在来」を種子親に、早生で多収の「北海14号」（現在の「レラノカオリ」）を花粉親として交配育成した夏型の系統である。2015年では雑種第8世代である。
2. ソバ「東北3号」は育成地（盛岡）の春播き（5月播き）において標準品種「階上早生（はしかみわせ）」よりも成熟期が7日早く、夏播き栽培（7月播き）において成熟期が4日早い早生であり、草丈が低い（表1）。
3. ソバ「東北3号」は育成地の春播き栽培において標準品種より10%以上多収で千粒重が重く、夏播き栽培では低収である（表1）。現地試験（秋田県羽後町）において「東北3号」は早生であり草丈が低い（表2）。
4. 実需者によるそばの官能評価ではソバ東北3号は色や香りの評価が高く、総合点で「階上早生」よりも優れる（図1、2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 秋田県羽後町において春播き栽培を中心に30ha程度の普及が見込まれる。官能評価が高いことから東北ソバとしてのブランド化に活用できる。
2. ソバ東北3号の容積重はやや軽いため、収穫物の精選に留意する。

[具体的データ]

表1 育成地におけるソバ「東北3号」の栽培特性、生産性及び子実特性

播種期	品種・系統	開花期	成熟期	草丈 (cm)	一次分枝数 (本)	花房数 (個)	倒伏	病害
春播き	東北3号	6月20日	7月28日	118	2.6	13.7	0.3	0.3
	階上早生	6月20日	8月5日	130	3.1	23.4	0.3	0.3
夏播き	東北3号	8月15日	9月21日	102	3.5	18.9	2.1	1.3
	階上早生	8月15日	9月25日	117	3.3	22.2	2.4	1.2

播種期	品種・系統	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	製粉歩留 (%)	タンパク含量 (%)	ルチン含量 (mg/100g)
春播き	東北3号	85	112	564	32.3	53.4	6.9	9.3
	階上早生	76	100	578	28.2	56.0	8.2	11.7
夏播き	東北3号	121	83	550	32.8	55.7	8.2	6.9
	階上早生	145	100	615	31.5	58.1	8.0	10.1

東北農業研究センター(盛岡)における試験結果、3反復平均値。春播き(播種期の平均値は5/21)は2012年から2014年の平均値。夏播き(播種期の平均値は7/22)は2012年から2015年の平均値。標準品種は「階上早生」。倒伏及び病害は指数0(無)から5(甚)により評価。病害は春播きはべと病、夏播きはうどんこ病について評価。

表2 現地機械播種試験におけるソバ「東北3号」の栽培特性、生産性及び子実特性

播種期	品種・系統	成熟期	草丈	子実重	容積重 (精選前)	容積重 (精選後)	千粒重	製粉歩留
			(cm)	(kg/10a)	(g/L)	(g/L)	(g)	(%)
春播き	東北3号	8月19日	119	123	528	642	32.6	50.4
	階上早生	8月24日	137	121	550	667	32.3	51.7
夏播き	東北3号	9月24日	76	54	579	656	34.1	53.7
	にじゆたか	9月30日	84	74	620	720	38.2	52.4

秋田県羽後町において2015年に実施。面積は各品種約5a。子実の精選は唐箕およびふるいを用いて行った。播種期は春播きが5/28、夏播きが7/24。

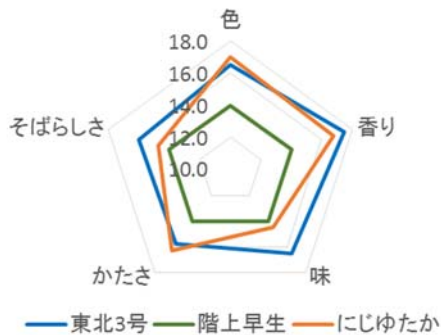


図1 実需者(秋田県内)による評価結果
2015年羽後町産の原料を使用。階上早生を標準(14点)とし8点から20点で評価。



図2 ソバ「東北3号」の麺
左：東北3号、右：階上早生。
原料は図1と同じ、そば粉:小麦粉=7:3。

(川崎光代、大瀧直樹)

[その他]

研究課題名：高付加価値を有する資源作物品種の育成と新規作物の評価・活用

予算区分：交付金

研究期間：：2009～2015年度

研究担当者：本田裕、川崎光代、大瀧直樹、加藤晶子

発表論文等：2016年度品種登録出願予定

(作物試験研究推進会議新品種候補審査会決定済み)